



ChromeOS で仮想化

エクスペリエンスの実現を加速

デバイスのセキュリティ確保、迅速な導入、クラウドファーストのシンプルな管理を実現するChromeOS は、仮想化の真の可能性を引き出します。

仮想化は、エンドユーザーがアプリにアクセスできるようにして生産性を高めるうえで不可欠なメカニズムです。業界全体のさまざまなトレンドの重なりを受けて、エンドユーザーコンピューティングにおける仮想化のニーズはますます高まっています。

ハイブリッド環境への対応

リモートワーク、モバイルワーク、オフィスワークといった多様な働き方を取り入れる企業が増えています。IT リーダーはあらゆる場所からのアクセスに対応できる仮想化ソリューションを必要としています。

60%

フルタイムまたはパートタイムでリモートワークを行っている米国の労働者の割合²。

従来のアプリケーションのサポート

オンプレミスとクラウドを併用する職場では、サービスの提供が複雑化しています。IT リーダーは、幅広くアクセスできる(特に従来のアプリケーションを利用できる)仮想化ソリューションを必要としています。

97%

クラウドベースではないアプリケーションを1つ以上使用している組織の割合¹。

OS への標的型攻撃

従来の OS のセキュリティの脆弱性を標的とした脅威や攻撃はますます高度化しています。IT リーダーはビジネスと顧客の両方のデータを保護できる仮想化ソリューションを必要としています。

69%

「昨年、会社でサイバー攻撃が大幅に増加した」と回答したグローバルリーダーの割合³。



新たなソリューションにはビジネス面と技術面の目標にすぐに対応できることが求められる

ITリーダーは、管理の手間とエンドユーザーの業務への影響を最小化して、ビジネスと顧客にもたらす成果を向上できるOSを必要としています。

最新のエクスペリエンス

従業員は最新のシンプルな仮想化ワークフローを期待しているため、ITリーダーは直感的に操作できるソリューションを求めています。

迅速な導入

エンドポイントデバイスの選択に制約がなければ、非正規従業員、契約社員、人事異動が多い部署の従業員にデバイスを配布する手間を軽減できます。ITリーダーはリモートですばやく安全に導入できるオペレーティングシステムを必要としています。

堅牢なセキュリティ

脅威から保護すること、競争情報、機密情報、個人情報に安全にアクセスできることが最優先事項となっています。ITリーダーはゼロトラストセキュリティポリシーを拡張できる、組み込みの多層セキュリティを備えた強力なソリューションを望んでいます。

58%

オペレーティングシステムベンダーの評価プロセスで、直感的なユーザーエクスペリエンスとインターフェースを優先事項としているリーダーの割合¹。

60%

現在の仮想化テクノロジープロバイダを選んだ主な理由として導入と管理のしやすさを挙げたリーダーの割合¹。

55%

Windows 以外のオペレーティングシステムを採用している主な理由として、セキュリティとコンプライアンスを挙げたリーダーの割合¹。



仮想化ソリューションは 基盤となるOS の性能に依存する

従来のシンクライアントオペレーティングシステムは、ユースケースが限られていることが多く、IT部門やエンドユーザーの多岐にわたる目標に対応できない場合があります。

使い慣れないユーザー エクスペリエンス

従来のシンクライアントのUIやUXは、通常ユーザーにとって馴染みがないものです。このため、生産性に影響し、使用できるアプリの制限やモニター表示の大幅な遅延といった従来の環境の課題が増大します。

コストの超過

最初のユースケースを拡張するときに、従来のシンクライアントやオペレーティングシステムが導入の障壁に直面する傾向があります。初期コストは低く抑えられても、総所有コスト(TCO)が高くなります。

管理の制限

特に複数ベンダーの仮想化を導入している場合、従来のシンクライアントには強固な統合エンドポイント管理機能がないためITリーダーの管理の範囲と機能が制限されます。

60%

従来のシンクライアントオペレーティングシステムの利便性の評価に従業員の満足度を使用している組織の割合¹。

30%

従来のシンクライアントオペレーティングシステムを使用している組織のうち、「導入の時間とコストが想定よりかかった」と回答した割合¹。

40%

シンクライアントエンドポイント管理ソリューションの機能や統合について懸念を持っている組織の割合¹。



ChromeOS で既存の VDI 設定の 価値を拡大

ChromeOS は、アプリケーションへのアクセスから周辺機器のサポートまで使いやすさを考慮した設計になっており、あらゆるワークフロー、デバイス、環境でエンドユーザーの生産性を高めることができます。

シームレスなエクスペリエンス

ネイティブ、ブラウザ、仮想化したWindows など、あらゆる環境からアプリケーションにシームレスにアクセスできるようにすることで、従業員のワークフローを簡素化します。

ユーザー1人あたりの1週間のダウンタイムを最大30分削減して、従業員の生産性を向上させます⁴。

周辺機器のオプション

ウェブカメラ、キーボード、プリンタ、モニターなど Works With Chromebook プログラムの認定を受けたさまざまなデバイスをプラグアンドプレイで使用できます⁵。

幅広い周辺機器のサポートによりデバイスのインシデントを最大 30% 低減し、従業員の生産性を向上させることができます⁶。

ChromeOS では、安全で高速かつシンプルな IT 管理が可能で、ビジネスにとって重要なタスクに、より時間を割けるようになります。

迅速な導入

デバイスの直送と、クラウドベースのユーザープロフィールを使用したデバイスのセットアップ(イメージ作成不要)により、大規模な導入も簡単に行えます。

Windows 10 と比較して、導入の遅延や予算超過のリスクを 30% 低減できます¹。

高度なセキュリティ

自動でのセキュリティアップデート、実行ファイルのブロック機能、多層的な OS アーキテクチャでエンドポイントデバイスを保護できるため、ウイルス対策ソフトウェアは必要ありません。

これまでランサムウェア攻撃は報告されておらず、ゼロトラストセキュリティも簡単に実現できます。

包括的な IT 管理

IT 管理者は、企業向けの Google 管理コンソールできめ細かな制御やリモート管理を行うことができます。

デバイスの再割り当てとデプロビジョニングに要する時間を 90% 以上短縮できます⁷。

予測可能なコスト

より長く使用できて再デプロイも安価で済む低コストのエンドポイントデバイスを実現することで、サービス提供コストを最適化し、TCO を削減できます。

デバイスの共有と、ハードウェアやソフトウェアのコスト削減により、デバイス1台あたり年間で最大 482ドル節約できます⁷。



主要な仮想化プロバイダを プラグアンドプレイで利用可能

ChromeOS は **Citrix** や **VMware** とシームレスに連携して、包括的なエンドユーザーコンピューティングソリューションを実現できます。

Viessmann での成功事例:

ドイツのエネルギーシステムメーカーであるViessmannは、従業員に柔軟な環境を提供するために、仮想化ソリューションとしてChromeOSとCitrixを採用しました。

パフォーマンスと柔軟性に優れた最新の環境を必要としていた同社では、ChromeOSとCitrixを導入することで、1万2,000人の従業員は生産性向上ツールを利用する一方で、従来のアプリケーションを利用できるようになりました。シンプルな管理機能でITリーダーの手間が軽減され、導入コストも削減できました。

[Viessmannの事例紹介の詳細を見る](#)

 chromeOS






ATB Financial での成功事例:

カナダの大手金融機関であるATB Financialは、銀行のカスタマーエクスペリエンスを変えるために、ChromeOSとVMwareを導入して従業員の働き方を刷新しました。同社のこれまでの仮想化環境は、パフォーマンス上の制限により共同作業をスムーズに進めることができず、IT管理も煩雑でした。ChromeOSとVMwareに切り替えた結果、5,000人以上の従業員は生産性向上ツールをいつでも利用できるようになりました。職場の文化も変化し、70万人以上の顧客に優れたサービスを提供できるようになりました。

[ATB Financialの事例紹介の詳細を見る](#)

 chromeOS







[その他の事例紹介を見る](#)



ChromeOS の詳細を今すぐチェック

ChromeOS にアップグレードして、仮想化の導入を加速させましょう。

ユーザー エクスペリエンスを高めて IT 環境をモダナイズ

- [ChromeOS セールsteamに問い合わせる](#)

ChromeOS の詳細を確認

- [Wall Street Journal の記事を読む](#)
- [Chromebook のエンドポイント向けハードウェアを確認する](#)
- [Chrome Enterprise Recommended \(CER\) のソフトウェアソリューションを確認する](#)
- [Works With Chromebook のハードウェアソリューションを確認する](#)

参考資料

1. ChromeOS およびDeloitte「End-User Compute Survey」(2021 年)
2. Deloitte「Designing Adaptive Workplaces」(2021 年)
3. Deloitte「Global Future of Cyber Survey」(2021 年)
4. Forrester「The Total Economic Impact of shared ChromeOS devices」(2018 年)
5. Works With Chromebook
6. Forrester「Cloud Workers are Key to Disruption Preparedness」(2020 年)
7. ESG「Quantifying the Value of Google Chromebooks with Chrome Enterprise Upgrade」(2018 年)



ご不明な点は、TD SYNnex 相談窓口までご相談ください。

jp_chrome@tdsynnex.com